

Customer  カスタマー
インタビュー

Interview

特別編



一般社団法人
マンション管理業協会さま

↑MEBS教育センターで行われた「マンション管理実務体験研修 エレベーター設備編」

マンション管理の実務を多角的に支援 実務体験研修「エレベーター設備編」を実施

一般社団法人 マンション管理業協会 試験研修部は、管理業務主任者の試験実施や会員会社に対する研修などを担当している部署です。年間を通じてさまざまな研修を実施する中、2025年12月、三菱電機ビルソリューションズ（以下、MEBS）教育センター（東京都小平市）で「令和7年度マンション管理実務体験研修 エレベーター設備編」を開催。会員会社が実際のエレベーターの仕組みや機能などを学ぶとともに、MEBSのエレベーター保守の体制や地震など自然災害時の緊急停止、閉じ込めなどへの対応を体験しました。同協会の研修活動について、試験研修部長の山岸法夫氏と同部次長の池谷光司氏に伺いました。



↑マンション管理業協会の本部

ORGANIZATION DATA

- 一般社団法人 マンション管理業協会
- 代表者/世古 洋介
- 設立/1979年
- 本部所在地/東京都港区虎ノ門1-13-3
虎ノ門東洋共同ビル2F
- 事業内容/マンション管理に関する資格試験や講習などの提供、調査研究など
- ホームページ/<https://www.kanrikyo.or.jp/>



↑エレベーターの基礎知識についての説明。フロント担当者として押さえておくべき保守やリニューアルの必要性を学習

↑当社独自開発のメンテナンスコンピューターを活用したメンテナンスの様子。

現代では欠かせないマンション 良好な居住環境と快適な共同生活 のために

1979年に設立された一般社団法人マンション管理業協会は、分譲マンションの管理システムや管理技術等に関する調査研究を行い、その適正化のための諸施策を推進することで、住民の良好な居住環境と快適な共同生活の確保を目的とし、マンションの管理の適正化の推進に関する法律に規定する指定法人の指定を受けています。国家試験である「管理業務主任者試験」を主催するほか、各種研修やシンポジウムの開催、マンション管理適正評価制度の運営など、さまざまな事業を行っています。

——マンション管理業協会の概要

について教えてください。

山岸氏 現在、正会員として337社のマンション管理業者が加盟しています。全国のマンション管理業者は約1750社といわれており、企業数で見ると約5分の1ですが、会員会社が管理しているマンション数は全国約715万戸のうち約664万戸に及び、受託比率は92.8%です。日本のマンションの9割以上を当協会の会員会社がしていることになります。

——貴協会が試験を実施している「管理業務主任者」とはどんな資格ですか。

山岸氏 マンション管理業者が管理組合等に対して管理委託契約に関する重要事項の説明や管理事務の報告などを行う際に必要な国家資格です。「マンションの管理の適正化の推進



↑一般社団法人マンション管理業協会試験研修部長 山岸法夫氏

に関する法律」によって規定されており、管理会社の各事業所は、30管理組合ごとに1名以上の有資格者を置かなければなりません。マンション管理会社に勤めている人には不可欠な資格と言ってもいいでしょう。

管理業務主任者になるには当協会が実施する試験に合格した後、管理

業務主任者として登録し、管理業務主任者証の交付を受ける必要があります。その際にも実務経験が2年未満の場合など、条件によっては講習を受けなければならない、そうした講習も当部署が担当しています。

見て、触れて、機能や操作方法を体系的に学ぶ「マンション管理実務体験研修」

正会員限定の「マンション管理実務体験研修」は、マンションに備わる機器設備を実際に見て、触れて、その機能や操作方法などを体系的に学べる研修です。今回、MEBS教育センターで実施した「エレベーター設備編」をはじめ、「管理員業務編」「防水工事編」「ポンプ分解整備編」「給水ポンプ編」「消防自火報設備編」の6つの研修を実施し、それぞれ3時間から半日ほどかけて行っています。

——この研修のねらいを教えてください。

池谷氏 マンション管理業務に必要なとされる知識の習得と対応力の向上が目的です。例えば、エレベーターの調子がおかしいとか、ポンプに漏水があるようだといった管理組合からの問い合わせに対し、管理会社の

担当者がある程度の確に答えられるレベルを目指しています。

実際の機器設備を使って、日常の業務では経験できない「非常時」を体験できる点もこの研修の特徴です。もし何か不具合があってお客さまから問い合わせがあった場合もすぐに状況をイメージでき、その内容を設備部門や技術部門に橋渡しできるようになります。

また、当会員の約7割以上が中小会社です。大手会社は自社に研修設備があったり、専門知識を持った人がいたりする場合がありますが、中小会社では十分な研修環境を整えにくいのが現状です。さまざまな研修を提供することで、そうした中小会社の会員をサポートするという意義もあります。

——今回、MEBS教育センターで行った「マンション管理実務体験研修エレベーター設備編」に参加した皆さんからはどんな声が聞かれましたか。
池谷氏 研修後のアンケートでは、エレベーターの構造や種類に関する基本的な知識を身につけることができたという声のほか、MEBSには全国約270カ所のサービス拠点があり、日本国内で約24万台の昇降機を保守管理していること、24時間365日の監視



↑一般社団法人マンション管理業協会試験研修部次長 池谷光司氏

体制で約6000人のフィールドエンジニアが日々メンテナンス業務や緊急時対応に当たっていることなど、驚きの連続だったという声が聞かれました。

エレベーターの機械室など、普段は見ることができない場所での緻密なメンテナンス作業も目の当たりにし、適正なメンテナンスの重要性を認識することができ、管理組合側に説明するうえで役立った。さらに、非常時にかご内に閉じ込められた場合や、地震時に最寄り階へ自動的に停止する管制運転を体験することができ、今後の仕事にも生かせようだという声を多数いただきました。

——研修ではエレベーターリニューアルに関する講習もありました。

池谷氏 日々のメンテナンスはもちろん、適切な時期にリニューアルを行う重要性や、最新の安全装置などリニューアル後の利点についても具体的に学ぶことができたと思います。

——マンション管理業協会試験研修部としての今後の目標や抱負を教えてください。

池谷氏 今回MEBSのご協力を得て



↑フィールドエンジニアのエレベーター実機メンテナンス研修の様子を見学

開催したマンション実務体験研修は、管理会社に勤務する管理業務主任者の皆さんが、管理組合や居住者からの問い合わせにスムーズに答えられるようになるという意味で非常に有益です。これからも力を入れていきたいと考えています。

山岸氏 マンションの評価を行う際にも管理業務主任者資格が必要になるなど、試験に合格しないとできない仕事があります。そのため、一人でも多くの有資格者が生まれるよう、この制度をもっと世の中に広めていきたいと思っています。当協会の目的である、

マンションにおける良好な居住環境と快適な共同生活を確保するためには、適切な管理を行うことが欠かせません。管理業務主任者の育成やサポート、「マンション管理適正評価制度」の普及などを通じ、その実現に向けて努力していきたいと思ひます。

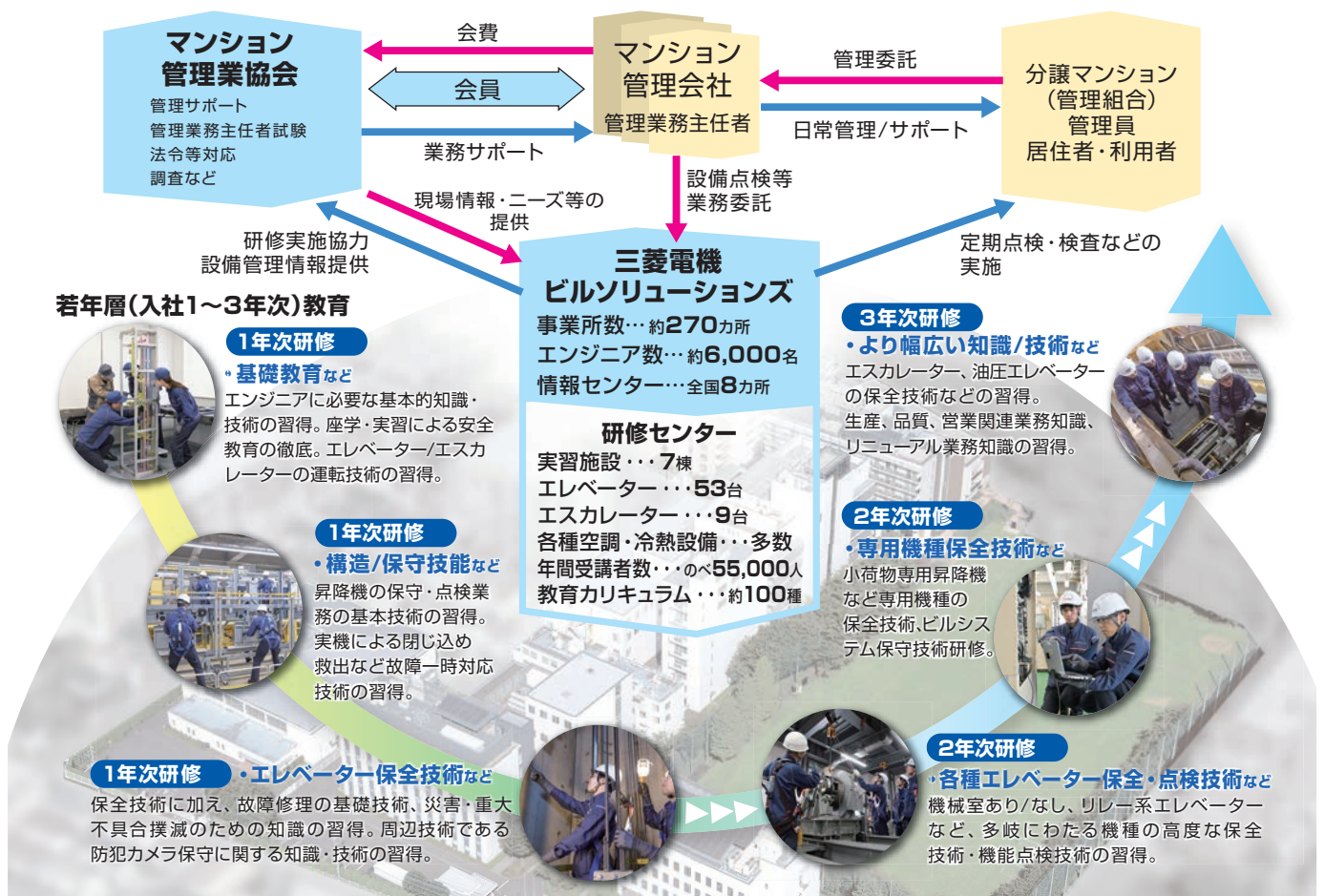
<三菱電機ビルソリューションズより>
日々の安心と快適な暮らしは、目に見えない適切なメンテナンスによって支えられています。

当社は、昇降機・空調・ビル内各種設備を安全にご利用いただくために、日々の

技術革新に取り組むとともに、当社独自の教育カリキュラムと教育センターを始めとする全国のテクニカルセンターを活用して、メンテナンス技術の向上に向けて、日々研鑽を積んでおります。当社教育センターは当社社員だけのための施設ではなくお客様の見学・研修や関係協力会社の教育にも活用しております。

今般の研修を通じて一般社団法人マンション管理業協会様と力を合わせて、社会の安全に寄与する活動をこれからも行ってまいります。

マンション管理業協会・マンション管理事業者・当社の役割



www.MEBS.co.jp/contact/form_products_solutions.html

お問い合わせは〈Web窓口〉へ 折返しご連絡します



三菱電機ビルソリューションズ株式会社

<https://www.MEBS.co.jp/>

〈当社の個人情報取り扱いについて〉

お客様の個人情報は適切に管理し、お客様との契約の履行に伴い利用します。また、当社が取り扱うサービス・商品の紹介等、お客様に有益で適切な情報を提供するために、お客様の個人情報を利用します。なお、この目的のために、お客様の個人情報の一部を業務上関連する会社へ提供する場合があります。

●印刷物の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。また色調は印刷のため、実物とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

EH044x<DP>

2026年4月作成